

地域の安全のために『一致団結!』

DAN!!!

宮崎県消防団だより「ダン!!!」

[Vol.01]

2012.12 “December”



消防団ってどんなことするの？

テレビやラジオで活躍中！

「久保 雪さん」が 体験レポート

消防防災関連情報!!

宮崎県防災・危機管理情報のホームページ
<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/bosai/index.html>

総務省消防庁のホームページ
<http://www.fdma.go.jp/>

まちの安心・安全を守る
強い味方

消防団員の本音に迫る
教えて! 消防団員!!

各市町村で活躍する
消防団の活動をご紹介

まちの安心・安全を守る強い味方

地域の防災に欠かせない存在の消防団。その活動や重要性について
宮崎県消防協会 尾中代傳会長にお話をうかがいました。



MESSAGE

地域の消防防災の要となる、 本当に頼もしい存在です。

地震や津波をはじめ、風水害や火山噴火など、私たちは常に災害の危機に直面しています。

そこで、私たちは同じ地域に暮らす者同士で、知恵を出し合い、「減災」のためにできる限りの準備を行っておかなければなりません。

このような中、消防団は、火災はもとより、地震や風水害などのあらゆる災害に備え、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、消防防災のリーダーとして重要な役割を担っています。

私たちが日々安心して生活できますのは、消防団の皆さんの郷土愛護の精神と強い使命感による地域の安全・安心の確保に向けた地道な活動によるものと言っても過言ではありません。

しかしながら、近年団員の高齢化や入団者の減少が進み、消防団員の確保にどの地域も苦慮されております。

ふるさとを守る消防団は、地域の方々が長年手を携えてきた誇りある組織です。この地域の力を次の世代に確実につなげていくためにも、県民の皆様には、消防団活動に対する御理解と御協力をいただき、できるだけ多くの方が消防団に入団していただくことを期待しているところであります。

このたび県におきましては、県民の皆様には消防団の活動や重要性をより理解いただき、団員確保等の一助となるよう、消防団に関する広報紙を発刊することとしました。

この誌面を通して、消防団の日頃の活動や団員さんたちの素顔などを伝えていきますので、多くの方に御覧いただいて、地域の消防団のことをさらに知っていただけると幸いです。

そして、お一人おひとりの郷土を愛する気持ち、地域は自分たちで守るという気持ちを地域の消防防災力の向上に生かしてくださるよう心からお願いします。



宮崎県知事
河野 俊嗣

自分たちの暮らす まちを守る

初歩的な質問になってしま
うんですが、消防団って一
体どんなことをしているの
ですか？

消防団というと消火活動と
いうイメージを持たれる人が
多いのですが、実はそのほか
にもさまざまな活動を行って
います。災害時には救助活動
や水防活動、平常時には、学
校などで防災訓練や救命講習

会を行ったり、住宅防火のた
めに地域のお宅を訪問したり
しているんですよ。

そんなこともされているん
ですね。

そうなんです。消防団は、
その地域に住んでいる人が
『自分たちのまちを、自分たち
で守りたい』という想いのも
とに構成された団体で、地域
の安全のためにさまざまな役
割を担っています。

消防というと消防署もあり

ますが、消防団とはどう違
うのですか？

よく聞かれる質問です。消
防署はみなさんご存知のよう
に職員が消防署などに常駐し、
消防業務に従事しています。
いわば、常備消防で、全国に
およそ16万人の消防職員がい
ます。

これに対して消防団は、火
災時や大規模災害発生時に、
自宅や職場から現場へ駆けつ
け対応に当たります。それぞ
れ別の仕事をもつ人が団員と
して活動する、非常備の消防

機関なんです。

消防団は日本中すべての市
町村に設置されていて、全国
で約87万人が、宮崎県では約
1万5千人が団員として活動
しているんですよ。

参加の仕方は さまざま

消防団員のみなさんはそれぞ
れ仕事を持ちながら活動され
ているんですよ。それって
とても大変なんじゃないです
か？

消防団の活動

平常時の活動



防火啓発活動

地域を災害から守るためには住民の防災意識の向上が不可欠です。まず災害を起こさないため、火災予防や防災啓発などを積極的に行っています。



救命講習会

住民がいざというときに疾患や怪我に素早く対応できるよう、AEDの使い方をはじめとした応急手当の普及・啓発を実施しています。



住宅防火訪問

各家庭を訪問し、防火啓発を行っています。災害時に支援が必要な方の把握に努めています。

災害時の活動



消火活動

火災が発生すると、消防団員は現場に駆けつけ早期鎮火に努めます。大規模災害の場合は近隣の消防団と連携し、効率の良い消火を行います。



救助活動

地震や風災害などといった自然災害が発生した場合は、地形や道路網、世帯状況などを熟知した消防団員が的確かつ迅速に救助・救出を行います。



水防活動

台風や集中豪雨などにより、河川の氾濫や堤防の決壊が起きないように、土のう積みなどの防災活動を迅速に行い、地域の被害軽減に努めます。

消防団と消防署それぞれの強み

消防団

動員力、地域密着性がある。

消防署

機動力、即時対応力がある。

機能別消防団員・分団制度

機能別団員

●火災予防・広報団員 ●OB団員

機能別分団

●バイク隊 ●女性消防分団 ●音楽隊
●大規模災害のみ活動する分団

消防団の特徴

地域密着性

消防団員は管轄区域内に居住または勤務しています。

要員動員力

消防団員数は消防職員数の約6倍です。

即時対応力

日頃からの教育訓練により災害対応の技能・知識を習得しています。

消防庁の資料より引用

地域防災の強い味方ですね！

消防団員の約7割が被雇用者で構成されています。団員の多くが、仕事と両立させながら、子どもを育てながら、自分の経験や適性を活かしてさまざまな活動を行っています。消防団には「機能別団員・分団」といった制度もあって、バイク隊や音楽隊、有事の際のみ出動する団員など、特定の消防団活動や時間の許す範囲での活動も可能なんです。

女性の消防団員もいらっしやるんですか？

はい。現在、約2万人の女性消防団員が全国で活躍しています。仕事を持っている女性から、子育て中の主婦、女子学生までその背景はさまざま。笑顔を浮かべての応急手当の指導や、思いやりを持つての高齢者宅への防火訪問、幼稚園や保育園を訪問しての防災教室など、消防団には女性だからこそできることもたくさんあるんですよ。

ますます重要な役割を担う消防団

大きな災害では消防団の力が大変重要だと伺いましたが。

ここ数年、東日本大震災や火山噴火、豪雨被害など、日本中でさまざまな大規模災害が発生しています。そのような災害時に大きな力を発揮したことで、あらためて消防団の重要性が注目されています。

消防団の団員は、その管轄区域に居住または勤務している方たちで、その地域の特性をよく知っています。急傾斜地などの危険箇所だったり、高齢者が一人で暮らしている家、安全な避難場所などの情報をあらかじめ持っているわけですから。地域防災にとつてこれはとても重要なことで、災害現場でより的確で迅速な救助活動が可能になるのです。

実際、阪神・淡路大震災や東日本大震災における救助・避難活動においても、消防団を筆頭とする地域の力が一番大きかったといわれています。

団員の数も消防署員よりかなり多いですね。

先ほどもお話しましたように団員の数はおよそ87万人と、消防署員の16万人に比べてかなり多いのですが、これでも地域の安全をしっかりと守っていくのには十分な数ではありません。

また、団員の年齢構成を見てみると、20代から30代の人が圧倒的に少ないんですよ。これからさらに高齢化社会が進むにつれ、当然、現在活躍中の消防団員も年齢を重ねていくわけです。そうすると、地域防災の要である消防団の力がどうしても弱まっていくってしまうんです。自分たちの住む地域、そしてかけがえない家族を守るためにも、どんどん若い人たちに消防団に加入してもらいたいですね。



宮崎県消防協会
尾中代傳会長

消防団の活動【その①】

消防操法訓練

消防操法とは、消防ポンプを使って消火活動を行うための操作手順。この訓練を通し、火災に対する迅速かつ正確な消火活動技術の他、チームワークや強い精神力を養うことが目的で、消防団の「基本訓練」と言えます。4人組（指揮者・1番員・2番員・3番員）で行い、ホースをつなげて伸ばし、ポンプからくみ上げた水を放水、火点（標的）を倒します。



それでは
チャレンジ!



ガンバルゾォー!!



久保雪ちゃんが
Challenge!!

消防団って、 どんなことするの?

消防団って、普段どんな活動をしているの? 消防団員って、どんな人たち?
テレビ・ラジオで活躍中のタレント・久保雪さんに、
実際の消防団活動を体験してもらいます!

取材協力：都農町消防団 衣装協力：宮崎市消防団女性分団

消防団だより
「DAN!!」の特設サイトでは
久保雪ちゃんの奮闘姿を動画で
チェックできる。
詳しくは最終ページにて。



消防団所有の 消防車で移動



消防団の活動【その②】

消火栓点検

火災が起きた際は、道路などにある消火栓からの水で消火活動を行います。いざという時に備え、消火栓のフタは壊れていないか、サビていないか、水はきちんと出るかなど、地域内の消火栓を一か所ずつ点検しながら回ります。

ありがとうございました！



地域のために地道な活動を行っている消防団、なくてはならない存在ですね。わがまちを守る頼もしい地域の味方です！

消防団の活動【その③】

火の用心の呼びかけ

地域内の家庭に、火の元の確認など防火意識を高めてもらうよう呼びかけます。通常は消防車から拡声器をつかって呼びかけることが主ですが、各家庭を訪問しての声かけも行っています。地域の方々とのふれあいを通じて、まちの安全を確認することも、消防団にとって大切な役割です。



都農町消防団
東分団第四部 所属
河野 良司さん

これまで18年間、消防団員として活動しています。平成24年の全国消防操法大会で宮崎県の代表として出場できたことは、夢のようなでした。部の仲間と訓練を重ねてきましたし、家族の協力なくては成し得なかったことだと思うので、本当にみんなには感謝しています。うちの部は団結力があり、上下関係もなく和気あいあいとやっています。なにごとにも楽しくやるのが大事ですね。消防団は、年齢や職業などの垣根なく誰でも入ることができる組織です。実際に入ってみると「良かった」と思えることがたくさんあるので、地域の消防団で活動してみませんか。



教えて！ 消防団員！！

DAN!! INTERVIEW

地域防災のために力を尽くす消防団。その活動に当たる団員の職業や年齢などはさまざまです。それぞれどんな想いで消防団で活動しているのか、その本音に迫ります。



三股町消防団 第3部 部長
黒木 明郁さん 52歳
(消防団歴17年)

地元のために仲間たちと一緒に頑張れるのが うれしいんです

三 股町消防団は、地域ごとに8つの部とラッパ隊で構成されています。団員の総数は160名、黒木さんは、その第3部の部長として14名の団員を率いています。林業を営む黒木さんが消防団に入ったのは、今から17年前のこと。「生まれ育ったこの町に家を建てたのが、きつかけといえはきつかけですが、子どもも産まれましたし、ちょうどそのタイミングで団に欠員の予定があつたもので」と黒木さん。子どもの頃から地元で活躍する消防団員の姿を見ていたので、入団するのには何の抵抗もなかったのだそうです。

「消防団に入ってから本当に良かったですよ。たくさんの方の地元の人が知り合いになれまし

最後に、消防団員として活動することの魅力について語っていただきました。

「消防団に入ってからにも損をすることはありません。自分の住むまちの力になれる、やりがいある活動ですし、年代を超えて地元の人たちのつながりも生まれます。一人でも多くの人に、この喜びを体験してほしいですね。」



黒木さんと三股町消防団第3部のみなさん



山中で仕事中の黒木さん。消防団での出会いが仕事につながることもあるのだそうです



延岡市消防団 第1支団
南浦第2分団 第56部
阿波野 すみれさん 26歳
(消防団歴5年)

地元のために役立ちたい。 大変なこともあるけれど、それを上回る楽しみがある

延 岡観光協会の臨時職員として働く阿波野さん。父親が消防団で部長などを務めていた影響もあり、学生時代から消防団員として活躍しています。

「物心ついた頃から、家族で父の操法練習を見に行ったりしていたので、消防団は身近な存在でした。子どももな



阿波野さんはラッパ隊にも所属していて、平成23年度宮崎県消防大会のラッパ隊フェスティバルでは優勝を飾りました



普段は、のべおか観光物産ステーションに勤務されています

したらいいのかわからなくて。でも、2回、3回と回数を重ねていくうちに、色々なことが見えてきて、本当にやりがいがある活動だと実感しました。特に女性団員だということ意識することはありません。男性にくらべて力がかつたりということはありますが、それは仕方ないこと。『負けてたまるか！』という気持ちでやりますよ」と笑います。延岡市消防団には女性消防隊もあるのですが、最近では女性隊ではなく地元の部に入る女性も増えてきているのだそうです。

「いざというときに頼りになるのは、地域で一番身近な消防団なんです。しかし、私の分団も含めて若い力が不足しています。なので、若い人にはどんどん消防団に入ってもらいたいですね。大変なこともありますよ、それを上回るやりがいと楽しみがありますよ」と阿波野さん。消防団員としての活動を本当に楽しんでいるのが、その笑顔から伝わってきました。

各市町村で活躍する消防団の活動をご紹介します

諸塚村消防団



諸塚村消防団は、日向警察署諸塚駐在所、諸塚村交通安全協会と協力し、火災予防と併せて、飲酒運転根絶と地域安全の啓発を目的として、毎年12月上旬にパレードを実施しています。「自分たちの地域は自分たちで守る」が合言葉です。

日南市消防団



日南市油津分団では、一人ひとりが使命感と仲間を思いやる熱い気持ちを持ち、団員68名が「一丸」となって日々の訓練を行っています。団員によるサッカーチームも結成しており、さまざまな活動を通して地域活性化にも貢献しています。

西米良村消防団



西米良村では、消防団と住民が協力し土砂災害防災訓練を実施しています。今年は、板谷地区の住民約60名が参加。大雨による避難勧告発令前に自主避難を行いました。同時に、集落防災検討会議を実施して、緊急時の連絡体制の確認などを行いました。

綾町消防団



綾町消防団には応急手当指導員の資格を持つ女性消防団員が10名在籍しています。子ども会などを対象にした講習会に参加したり、独居老人宅を慰問して話し相手になったりと大活躍。11月の屋内消火栓操法大会には約1ヶ月間練習を重ねて参加しています。

五ヶ瀬町消防団



団長以下259名が、ふるさとを愛し地域に密着した取り組みを展開しています。中でも力を入れているのが、各家庭のかまどや消火器の点検などを呼びかける「かまど検査」という活動です。今後、安心して暮らせる町づくりの要として頑張っていきます。

宮崎市消防団



宮崎市消防団は17分団（152部）2,568名で組織しています。団の特色としては、防火防災思想の普及や消防団活動のPRを目的とした消防団音楽隊、さらに水難救助等に特化した活動を行う全国初の水上バイク隊（機能別分団）があります。

門川町消防団



門川町消防団は分団4、部数15、現在団員331人にて組織され、日々活動に従事しています。11月25日には出初式での通常訓練に備え、各部が集合して訓練を行いました。今後も安心して暮らせる町のために消防団員の存在が欠かせません。

えびの市消防団



平成22年に結成した防災バイク隊「レッドホーク」は、バイクならではの機動性を活かし、災害時の情報収集や物資運搬、行方不明捜査などを目的としています。これまでに、車が進入できない林道で不明者を発見するなどの実績を挙げています。

西都市消防団



西都市では毎年、秋季全国火災予防運動期間中に消防団による防火パレードと女性団員によるアンケートなどの普及啓発活動を行っています。今年も11月9日に市内スーパーにて活動を実施しました。

DANI!TOPIX

全国消防操法大会初出場！ 都農町消防団



全国大会で活躍する団員のみなさん

南分団、中央分団、東分団の3分団16部349名からなる都農町消防団。その「都農町消防団東分団第4部」が平成24年10月7日に行われた「第23回全国消防操法大会」に、宮崎県代表として初出場を果たしました。

操法大会に向けて練習を始めたのが5月の連休前。団員のおよそ6割が会社員で、日中はなかなか集まらず、夜、運動公園の駐車場を利用して練習を繰り返したといいます。

「毎晩のように練習できたのは、家族や職場のみなさんご理解・ご協力があったからこそ。そうでなければ、全国大会には出場できなかったと思います」と語る団長の岡田和巳さん。その気持ちに応えられるためにも、団員が一丸となって地域防災の要としての役割を果たしていきたいとのことでした。

宮崎県内の電子書籍が揃うポータルサイト「miyazaki ebooks」にて 宮崎県消防団だより「ダン!!」

DAN!!!

特設サイト 開設!



WEB サイトへはココから!



行っ
つ
す

「ダン!!」の電子書籍は
もちろんのこと、
今回、消防団活動を体験した
「久保雪ちゃん」の
動画を配信中!
みなさんぜひ CHECK!!



みやざきの登山誌「yo-ho」

Vol.1「韓国岳」(えびの市)
Vol.2「大幡山」(小林市)
Vol.3「飯島と泡めぐり」(予定)

大人気掲載中!

お問い合わせは、HP内のお問い合わせのフォームもしくは、下記まで。
<http://www.miyazaki-ebooks.jp/>
miyazaki ebooks 実行委員会 (株式会社宮崎南印刷内)

株式会社 宮崎南印刷 〒880-0911 宮崎市大字田吉 350-1 TEL0985-51-2745

地域の安全のために『一致団結!』

DAN!!!

宮崎県消防団だより「ダン!!」

[Vol.01]

平成24年12月発行

【発行】
宮崎県総務部 危機管理局 消防保安課
〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号
TEL0985-26-7627 / FAX0985-26-7304

【企画編集・デザイン・印刷】
株式会社 宮崎南印刷
〒880-0911 宮崎市大字田吉350番1号
TEL0985-51-2745 / FAX0985-52-2682